

日EU・EPAに関する講演会

10月5日（金）15：00～16：30

ベルニーニ・ブリストル・ホテル

（地下鉄A線バルベリーニ駅より徒歩1分、Piazza Barberini 23）

講師：木村福成・慶應義塾大学経済学部教授

共催：在イタリア日本国大使館、伊日財団、ICE

使用言語：英語、イタリア語逐語通訳

日伊両国は、長らく密接な経済関係を維持しています。同時に、我が国は東日本大震災からの復興、伊は欧州経済危機からの脱却という大きな課題を抱えています。課題を克服するため、日伊両国は、財政再建という課題を抱える中、成長の確保、雇用の増加を実現することが求められています。

一方で、日EU両政府は、更なる経済関係強化に向けてEPA実現に向けた議論を行ってきました。日EU・EPAは、関税のみならず、非関税分野(Non Tariff Measures)、政府調達、知的財産等の幅広い分野をカバーすることを志向しています。日EU・EPAは、WTOドーハ・ラウンドが停滞している現状において、貿易自由化に関する現実的かつwin-winな取り組みであると共に、日伊の経済成長実現に向けた重要なツールとなり得るものであり、早期の交渉開始が期待されます。

今般、在イタリア日本国大使館、伊日財団及びICEは木村福成・慶應義塾大学経済学部教授による講演会を実施します。講演会では、日EU及び日伊間の貿易及び投資の現状を踏まえ、日EU・EPAが双方に、どのようなメリットをもたらすのか、経済専門家の観点から興味深い分析を紹介してもらいます。講演後には質疑応答も予定します。日伊及び日EU協力のポテンシャルを再発見する機会として、ふるってご参加ください。

なお、参加を希望される場合には、在イタリア大使館広報文化班までメール或いはファクスにてお名前と所属先を、10月4日正午までにご登録下さい。

メール：culturale@ro.mofa.go.jp

ファクス：06 487 3316

講師情報：木村福成・慶應義塾大学経済学部教授

東京大学法学部卒業後、ウィスコンシン大学大学院で経済学博士号取得。ニューヨーク州立大学オルバニー校助教授、慶應義塾大学経済学部助教授を経て、現職。これまで、世界銀行・米州開発銀行等国際機関のコンサルタントを歴任し、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）チーフエコノミスト、公益財団法人東京経済研究センター（TCER）代表理事を兼任する。